

蒲郡マリンライオンズクラブ
会長

L 竹内 元一

25周年の行事がメンバーの創意・工夫のお蔭で、少ない予算の中で思った以上の成果を上げることが出来、深く感謝申し上げます。

私が蒲郡に仕事で赴任して27年、スポンサーのL永田に勧められて蒲郡マリンに入会させていただいて15年、私にとってクラブの25周年は蒲郡での活動の集大成でもありました。大学卒業後、名鉄病院で研修し、名大第二外科で専門研修をして、その関連病院である蒲郡市民病院へ赴任して来たのは、同門の大先輩である鈴木龍哉名誉院長（故人）を頼り、蒲郡に骨を埋める覚悟でした。しかし活気のない蒲郡の町を見て、仕事以外でも蒲郡のために何かしようと思ひ、トライアスロンを誘致し、蒲郡競艇の隆盛に一役買い、蒲郡の自然を紹介する活動を続けて来ました。しかし、蒲郡市民病院は前院長と市の上層部の不手際で数年前から傾き始めました。私は病院の改革を市の上層部に訴えましたが受け入れられず、やむなく病院を後にしました。病院の前に市を改革すればまだ救いようがあると市長選にも出ましたが一般の方の理解を得ることは出来ませんでした。そんな中で25周年の会長職は私に蒲郡での集大成の機会を与えてくれましたことを感謝申し上げます。

予想をしていたことですが、25周年が終わって、たくさんの退会者が出て、クラブの運営はますます大変な状況となって来ています。クラブを辞めることは簡単ですが、立て直すのは数倍の努力が必要です。これからのクラブ運営には若い力が必要です。それには若い有能な人がライオンズに興味を持つようなPRが必要だと思ひます。薬物乱用防止教室は軌道に乗った重要な活動ですが、ライオンズに結び付けるには対象が若すぎます。これからは青年を巻き込んだアクトを何か考えるというヒントを出して、L山本喜是次期会長にバトンを渡したいと思ひます。

25

2013~2014



蒲郡マリンライオンズクラブ
CN25周年大会委員長

L 加藤 寿 則

感謝の気持ちで奉仕の心

蒲郡マリンライオンズクラブはCN25周年を迎える事が出来ました。親クラブ蒲郡ライオンズクラブ・姉妹提携クラブ飯田赤石ライオンズクラブ、また多くのライオンズクラブ各位のご指導・ご協力・ご理解を賜り無事に迎える事が出来ました事に大会キーワードを「感謝」と表現させて頂きました。

又、奉仕活動を展開するにあたり、会員の減少・周年行事準備金不足の厚い壁を跳ね除け、会員一同が何度も協議を重ね、「創意・工夫」を理念に地域社会に幸せと感動を与え、額に汗した労力奉仕を遂行して参りました。蒲郡マリンライオンズクラブの「マリン」を重視して海に対しての奉仕を考慮し、蒲郡市の風光明媚な環境も取り入れました。

*三河湾には最近「スナメリ」が多く見られ市内の子供会約400名近くの子供を集めて大型遊覧船にて三河湾を周遊し、スナメリ・ウォッチングを行い、ホテル竹島にて食べ放題の昼食が大好評でした。

*ネイチャー・ウォッチングは今話題のアサギマダラの生態・カワセミの巣穴等をウォッチングして、さがらの森に、蒲郡に住む蝶・小鳥のモニュメントを立て除幕式を行いました。

*500名が掘れるさつま芋を農作して、市内の子供達やつつじ寮の障害者、親子ふれあい芋ほり大会を行い、マリンライオンズクラブのメンバーが500個の焼芋を焼いて参加者に振舞いました。

その他、桜の木の植樹・グラウンド・ゴルフ大会のお手伝い・チャリティー釣り大会・チャリティーゴルフ大会・含めて合計10件のアクティビティを実行。総額合計金額が300万を満たない額で出来たことは各委員長はじめメンバーのモチベーションの心意気「人間力」です。まさに「創意・工夫」の表れでしょう。感謝 感謝

この25年を節目に、30年40年50年と向けて会員減少を防ぐには、若者が自由に入会出来、活躍の出来るクラブに規約改正し、働く人たちのライオンズクラブとして、地元で奉仕出来るよう頑張ろう。



次年度会長
L 伴 捷文

ご挨拶

蒲郡マリンLCは創立26年となりました。先人や皆様のご協力によって重ねて築いた歴史の中で、明日に繋ぐウィサーブを心を込めて1年間微力ながら全力で尽くして参ります。「ありがとう いつも笑顔でウィサーブ」をスローガンといたして、まず感謝と同時に楽しいクラブ運営、例会、事業活動等、楽しいウィサーブを心がけて工夫して参りたいと考えます。

事業の主体は数々の継続事業になりますが私は長年にわたる市政の経験を生かして、行政、産業経済等をテーマにした事も、講師を招聘して参りたいと考えています。

又、会員増強は奉仕の増強と言われている。頑張ってお参ります。皆様ご紹介、宜しくお願ひ致します。皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げますとともに、ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

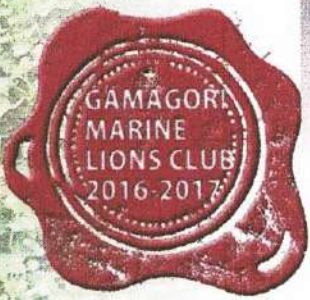
次年度幹事
L 夏目憲行

ご挨拶

平成9年にL吉見敏春会長の下でクラブ幹事を経験させて頂きました。当時は初めての事で、出る機会も頻繁で、仕事の段取りを大幅に変更して夢中で1年間やった事を思い出します。

次年度、2度目のクラブ幹事を引き受けることになりました。幹事の仕事の役割は、クラブ業務がスムーズになるように、段取りを早め、早めに進め、例会・理事会・奉仕事業等の進行に支障がきたさないようにする事だと思っています。チャーターメンバーとして入会して、早くも26年経ち、入会したのが30代で、60代半ばの年齢になった今、色々考える事は奉仕活動のあり方、例会のやり方はこのままで良いのか、会員数もピーク時の3分の1になり、いかに新入会員を増やすにしても、誰でも入りたいと思う魅力あるクラブにしなければと考えています。今まで色々な役を受けさせてもらった経験を生かして伴会長の手足となり、クラブに貢献したいと思ひます。





Greeting ご挨拶

28

2016~2017

役員の間顔と抱負



次年度会計

L 山本 喜是

この度、飯嶋会長の下で蒲郡マリンライオンズクラブの会計という大役を拝命いたしました。2年間に亘る会計を務める事に成りますが、気を緩めず与えられた職務を果たし、精一杯努力する覚悟です。1年間何かとお世話になりますが、会員の皆様方の一層のご協力ご支援を賜われますようお願い申し上げます。



次年度第一副会長

L 夏目 憲行

チャーターメンバーで入会し、早 28 年経ちました。その間、会員数はピーク時の 1/4 に減少しました。入会時は 30 代後半でしたが、60 代後半に歳を取った今、会社は長男に任せボランティア活動も今まで以上に身を入れて頑張りたいと思います。会員増強はクラブの奉仕活動には緊急の課題です。奉仕活動に興味があり、積極的に参加してくれる人の入会を望んでいます。

皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げますと共にご協力の程、宜しく申し上げます。



次年度第二副会長

L 鳥居 憲臣

チャーターナイトで入会して 29 年になります。昔はメンバーも多く、予算もしっかりあり、どんな行事も盛大に励行されていました。現在はメンバーも減り、会の存続も危ぶまれる時代となり、これを打開するにはメンバー一人一人の知恵が必要です。今回は二度目の副会長として責任の重さを感じています。少しでも役に立てる様、頑張ります。

会員の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、何とか7月の所信表明に間に合いました。また入院の時は元気な声をかけてもらい勇気づきました。この場を借りてお礼申し上げます。
今年の私の基本方針(案)は原点回帰となります。その5項目の目標は

1. 会員増強「ライオンズクラブの活動をスムーズに原点に立ち戻すために」

それには①女性会員・家族会員の増強に力を入れる。

②愛知県における女性の社会進出に目を向ける。以前は40%弱でしたが、現在では76%で2倍になっている。前年度は女性ガバナーの誕生の年となり女性が国際会長になりました。

③クラブの収支予算書に目を向け運営費、事業費、食事費のバランスに着目する。この中から見直しをして会費を下げる事が出来れば会員増強もしやすくなる。

2. アクティビティの再検討

目標 地域に求められているアクティビティの実施

これによりライオンズクラブを十分PRすることによりクラブの活性化につながることを確信します。

3. 会員育成のための研修『教育のない組織は崩壊する』これを補うためにワークショップ形式を多く取り入れる。

4. 世界の子供たちに笑顔

これを実行するためには目標MJF寄付金145万ドル以上あれば糖尿病・環境・視力・食材支援・小児がんをはじめあらゆる分野で奉仕の手を差し伸べる事が出来ることになり、またLCIFキャンペーン100につきましても、全会員のあたたかいお気持ちでご理解、ご協力をお願いします。

5. クラブメンバーへの負担の軽減

公式訪問、地区年次大会も含めてクラブの費用的、時間的な負担につきまして出来る限り軽減する。

以上この方針に基づいて1年間頑張りたいと思います。

最後に私が力を入れているのが、青少年育成事業において薬物乱用防止教室であり、今10代の6割が初めて薬物を使用した動機が『好奇心、興味本位でこれが薬物のゲートウェイ(入口)ドラッグ』大麻や覚醒剤、危険ドラッグの使用を「少々なら構わない」「全く構わない」と考える中学生が増加している。そこで私たちは次世代の担い手となる子供たちが違法薬物を乱用することによる危険性を各地域の小中学校に出向いて子供たちに直接指導し、今まで以上に活発に開催する必要がある。

【所信表明】 会長：加藤寿則

蒲郡マリンLC第33代目（2020年7月～2021年6月）の会長を拝命頂き重責を感じています。今、当クラブは最大の瀕死の状態であると思う。
メンバー減少（25名）で例会・理事会全ての行事に全員参加で高齢者多く皆様が大変だと思えます。来年度は会員増強で全員で協力して頑張ります。

1) 勧誘プロジェクトを作る

- ① 数名の人に参加してもらいメンバーから集まった資料をもとに協議して、当クラブの資料を持参して訪問する。
 （例えば、年報・入会マニュアル・例会内容）
- ② 各メンバーが周囲を見て推薦者を提出する。本人とは接しない。
- ③ 創立以来退会した人の本当の理由を調べたい。
 一身上ではなく（例えば役が回ってくるから）
- ④ 会員の退会者を出さないこと。

2) 会員の育成

- ① メンバーが少ない為、委員会の行事を一緒になって行動する。
 良く理解するまで共に勉強するつもりで説明する。
- ② 初心を忘れず。
 入会する時は地域社会にお返しをしようと思って入会されたと思う。

3) アクティビティ

- ① 地域が求めている（奉仕）アクティビティする。
- ② 継続アクティビティは良いと思う。
 芋畑・つつじ寮・薬物乱用・ごみゼロ運動・献血運動
 特に芋堀り大会は、地域の身障者や年少者から大人まで幅広く親しまれ大人気である。
 又つつじ寮感謝祭もつつじ寮の職員の方々のアイディアで関係者に親しまれ、朝から一日のお手伝いが出来充実する一日です。
 今年一年、会員の皆様にはご指導ご鞭撻を頂きながら宜しくお願い致します。

第一副会長 竹内元一

メンバーの減少と高齢化により、30周年のL夏目憲行会長より2度目の会長をしないと回っていかなくなり、昨年度はL鳥居憲臣が2度目、そして今年度はL加藤寿則が2度目の会長となり私も2度目の第一副会長を引き受けることとなりました。メンバーの減少は事業資金の減少につながり、それがライオンズ事業の縮小とならないように知恵を絞らないといけません。根本的な解決はメンバー増強であることは間違いありませんが、それ以外にも経費節減・事業資金獲得のための方策はあります。ひとつは、年報のホームページ化で30~40万の年報製作費が浮きます。昨年より行っている芋焼酎製作・販売では10万弱の事業資金獲得が出来ました。また30周年で行った蒲郡オレンジロゲイングのように無料ではなく参加料を集めて、それに我々の奉仕でそれ以上の見返りを参加者に還元する事業と言うのもひとつの新しい形ではないかと思えます。

幹事 市川貞也

この度、幹事という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。当クラブにおいては、60歳を過ぎてもまだ若手であり、皆様の手となり足となり頑張ります。今後自分自身楽ができますよう、会員拡大に全力を注ぎたいと思えます。

アクティビティにおいては、マンネリ化の傾向が見受けられますが、少しでも知恵を出し、より良いアクティビティになるよう努力いたします。

経験豊富な会長の指導を仰ぎながら、さらに自分の考えを会長にお伝えしご了解を得たうえで、いつも冗談が飛び交い、笑いの絶えない、フレンドシップに満ち溢れた会員皆様にちょっぴり刺激を与えることが私の使命であると認識しています。よろしく願い申し上げます。

【所信表明】 会長：竹内元一

皆さん今日は、25周年に続いて2回目の会長をさせていただくことになった竹内です。毎日毎日、コロナ新規感染者数何人と言う暗い話題が続きますが、大谷翔平選手の投打にわたる活躍は久し振りの明るい話題で、来週開かれるオールスターゲームでの活躍も期待されます。

去年はコロナ禍のために活動がかなり制限されて、蒲郡まつり、福祉まつりなども中止となり、薬物乱用防止教室も出来ませんでした。例会すら中止するクラブの多い中で、加藤寿則会長の努力により、全例会開催、芋掘り大会、国際平和ポスター表彰式、防犯カメラ寄贈などの業績を挙げられました。加藤会長の後を引き継いで、今年のクラブスローガンは『知性で困難を乗り越え、拓げよう奉仕の輪』とさせていただきました。困難の指す内容はコロナ禍と会員減少です。これを知性で乗り越えて昨年以上の業績を挙げたいと思います。

高齢会員の多いことが不幸中の幸いかワクチン接種も半数くらいの会員が済んでいるようですので、昨年実施出来なかった夏季家族会旅行やクリスマス家族会なども今年は出来そうな気がして来ました。

例会の充実を図るために、15分ほどの会長あいさつを利用して皆さんに毎回学んでいただけるような話題を取り上げて、プロジェクターも使いながら話をしたいと思います。

また今年の誕生祝品ですが、商品券ではなく皆さんが必ず使えるものとしてライオンズマーク入り携帯ケースとしました。誕生祝謝礼は4000円以上でドネーション扱い（事業会計に繰り入れ）としたいと思います。

さて初回の話は新型コロナを取り上げたいと思います。新規感染者数の都道府県別推移を見ると、東京都では第4波が始まっています。今までの経過を見るとまず東京で起こり、それが大阪、名古屋などの地方大都市に拡がり、最後に北海道、沖縄などの遠隔地に拡がるというパターンが多いように思います。

第4波の原因はウィルスの変異です。イギリス株から始まり、南ア株そしてインド株と変化して来ています。ワクチン2回接種が終われば、インド株でも全く無効と言う訳ではないようです。ただワクチンは絶対ではありません。大量のウィルスにさらされると感染は起こりますので、マスク、手洗い、3密を避けるなどの感染対策は継続する必要があります。

元々ウィルスは人類との共存を目指して進化して来ました。変異を繰り返すうちに感染力は強くなりますが、宿主である人間を殺すような毒性は弱くなっていくのが通例です。今の新型コロナウィルスもいずれ、インフルエンザや普通の風邪を起こすウィルスと同程度のウィルスに変異することを期待しています。

第二副会長 市川貞也

昨年幹事をさせていただきました。僭越ながら幹事は私の得手としているところで、クラブに少なからず貢献できたのではないかと考えております。しかし、会長はさにあらず。適任者が現れることを望みます。

この挨拶文を作成するにあたり、歴代の年報を参考にすべく読んでみました。20年以上前から会員減少が言われています。何をし、その後反省のもと何をされたのか。もう実践あるのみ。

【所信表明】 会長：鈴木八重子

蒲郡マリンLC第35代会長を拝命頂き、その責任の重さを痛感しております。

2020年に入り、新型コロナウイルス感染症が世界に蔓延以来3年、先の見えない状況の中でライオンズの活動は足を止めることなく進められました。これこそ団結力と連帯感の賜物と思います。

日本現況同様クラブ会員の高齢化、健康理由などの事情で退会される方々もあり歴代会長も会員増強に苦慮され今日に至っております。

ライオンズのスローガン「自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる」のもと、クラブスローガンを「やさしさと思いやり力を合わせて We Serve」

今後も会員減少は避けられない中、身の丈に合った奉仕活動・運営を模索しながら知恵と努力で難関を乗り越えたいと思います。

活動方針

1. 会員増強

2. 奉仕活動

いも掘り大会・薬物乱用防止教室・献血運動・つつじ寮応援・ごみゼロ運動・交通安全・国際平和ポスター募集・救命講習会・

地震災害講習など身近な所からの継続奉仕活動を進めていきます。

奉仕活動しながら異業種の会員の集まる中で視野を広げられ、趣味部会（ゴルフ・釣り・放談部会）で趣味の幅も広がられます。

合同例会も今期は、例年の蒲郡クラブとの例会に加え、新城クラブ・豊川クラブとの3クラブ合同例会の企画が加わります。

新たな交流が期待されます。

未熟ではありますが、精一杯奉仕活動に頑張ります。会員の皆様のご協力ご指導ご助言よろしく願いたします。

第一副会長 市川貞也

この度、第一副会長を拝命致しました市川です。今年度は当クラブにとって初めての女性会長となります。従来とは違う新鮮な考えを打ち出され、その上で、アクティビティーを実践されることを期待し、しっかり支えたいと思っています。

そして、会員拡大は是が非でも達成しなければなりません。フレンドシップに富んだ楽しい会に参加して頂ける会員を一人でも増やせるよう頑張る所存です。